

こしきししまい
古式獅子舞



宮城県涌谷町教育委員会
生涯学習課 二瓶 雅司

宮城県 涌谷町



涌谷町の位置

面積：82.16平方km

人口：16,485人

(平成30年3月31日現在)

特徴：桜の名所・日本初の産金地など



涌谷城跡と桜

千葉氏と涌谷のつながり

千葉介常胤の3男、武石三郎胤盛が奥州合戦で功をたて宇多・伊具・亶理の3郡を拝領。後に亶理に改姓。天正19年（1591年）涌谷へ移封。その後、伊達姓を賜りました。



光明院：武石胤盛の位牌寺



武石胤盛の位牌

千葉氏と涌谷のつながり

妙見宮(現在は新明社)は巨理家(涌谷伊達家)が涌谷へ移封した時に、一緒に巨理から移りました。



妙見宮：涌谷伊達家の氏神を祀る



妙見神坐像

古式獅子舞とは

胴に涌谷伊達家の家紋である「月二九曜紋」が施された2頭の獅子・狛犬が稚児にあやされ、ゆるやかなお囃子にのって舞います。県内では珍しい形なので、涌谷町指定無形民俗文化財となっています。現在の古式獅子舞保存会の会員数は66名です。



演舞の様子(光明院)

由来

獅子舞は天文21年(1552年)に涌谷伊達家初代当主、亶理元宗が京都へ遊学した時に、愛宕神社で演舞されている獅子舞に感銘を受け、一緒に持ち帰ったと云われています。最古の記録は文久2年(1862年)に妙見宮へ奉納された絵馬です。



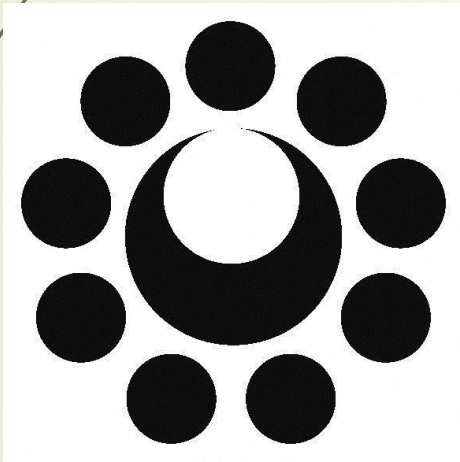
古式獅子舞絵馬(町指定文化財)



模写図

獅子と狛犬

2人立ちです。
赤い頭の方が獅子、黒い頭の方が狛犬です。
胴の黒い幕には、涌谷伊達家の家紋「月二九曜紋」が施されています。



月二九曜紋



獅子と狛犬（光明院）

稚児とはやし

稚児(子供)は、左手に幣束、右手に軍配を持って舞い、獅子をあやします。



稚児 (妙見宮)

はやしは、ゆるやかな笛や太鼓を鳴らします。



笛や太鼓 (光明院)

演舞の様子

「おどり」の内容は、道笛で行進して「はやし笛」で踊り始めます。そして、「ねむり」「起し」「あやし」「本舞」の順に舞います。



獅子と稚児が輪になっている様子（妙見宮）

演舞の様子

「本舞」では獅子の肩に、稚児（あやし）を乗せて舞います。
この獅子あやしは、文殊菩薩の「文殊よく百獣の王を鎮める」という意味を表したものとされ、古き時代の神仏混淆のなごりをとどめていると言われています。
町民の健康や商売繁盛、子供たちの健やかな健康を願って演舞しています。



獅子をあやす稚児の様子（妙見宮）

演舞の時期

- 妙見宮
9月第1週土曜日
- 城山公園（桜まつり）
4月第4週日曜日
- 黄金山神社
9月第2週土曜日
- かつぱ祭り
7月第3か4週土曜日

など



妙見宮へのお参り

テーマ「千葉氏と妙見祭礼」

獅子舞は戦国時代に伝わった可能性があり、少なくとも江戸時代の終わり頃から、受け継がれたものです。記録や古老の話では獅子舞は町内の川原町という妙見宮から離れた町人町に伝わってきたものといいますが、絵馬が妙見宮に奉納されていることから、獅子舞と妙見宮は古くから繋がりが深かったと考えられます。現在、獅子舞が一番意欲的に取り組んでいる演舞は妙見宮への奉納（演舞）なことから、妙見宮ひいては涌谷伊達家への想いが伝わってくるようです。



妙見宮へのお参り